

# 「糖尿病早期発見・受診支援事業」 結果報告

埼玉県保健医療部薬務課

1

## 1 背景・目的

### (1) 糖尿病とは(事業実施の背景)

- 日本の糖尿病患者は、生活習慣・食生活の変化により増え続けている
- 予備群を含めると2,000万人とも言われている
- 埼玉県内の糖尿病疾患患者数は約32万人と推計
- 糖尿病は初期段階では自覚症状が現れない場合が多い
- 適切な治療を受けるとともに生活習慣を改善しないと気付かないうちに重症化してしまう

2

# 1 背景・目的

## (2) 事業実施の目的

- 薬局・薬剤師が、薬局や健康イベント等において、糖尿病の早期発見を支援する
- 糖尿病の可能性のある者及び糖尿病に移行する可能性のある者に対し、医療機関への受診を勧奨するモデル事業を実施する
- これらの事業において糖尿病の早期発見・受診支援をすることにより、糖尿病の重症化防止につながる

3

# 2 実施方法

## (1) 連絡会

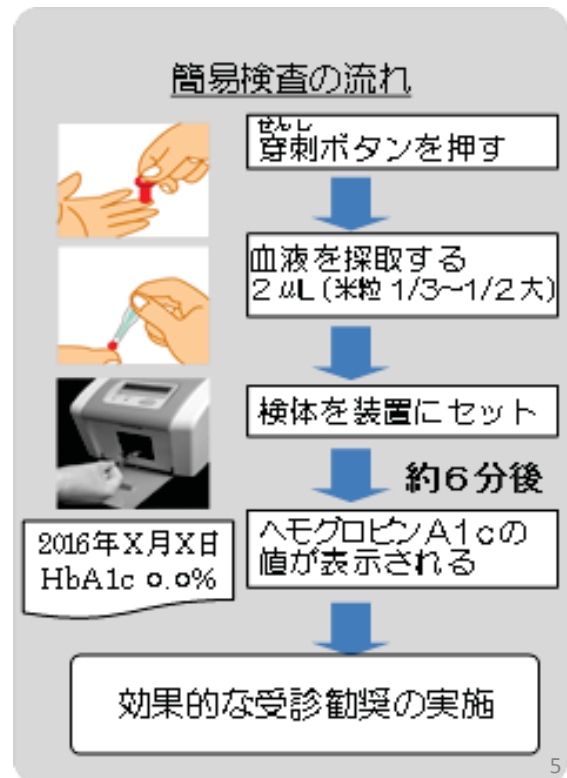
- 平成27年7月から計6回実施
- 連絡会参加者
  - ・幸手市医師会会員
  - ・幸手市歯科医師会会員
  - ・幸手市健康増進課
  - ・幸手薬剤師会会員
  - ・埼玉県保健医療部薬務課

4

## 2 実施方法

### (2) 測定方法

- 薬局及び健康まつりで測定
- 検体測定は、ガイドラインに沿った手順で行い、検体測定希望者にアンケートを実施
- 使用機器：  
cobas b 101  
(ロシュ・ダイアグノスティックス)



## 2 実施方法

### (4) 広報活動

地域住民に対して、以下のとおり広報活動を実施

- ポスター(2,000枚作成)  
駅、商工会、公共機関、薬局、クリニック、  
歯科医院等に掲示
- チラシ(10,000枚作成)  
イベント会場、薬局、スーパー、公共機関、  
自治会回覧、歯科医院、暮らしの保健室、  
シルバー人材センターで配布
- その他  
幸手市報  
タウンプレス(地元紙:12,000部発行)に掲載

## 2 実施方法

### (5) 薬局での測定

- 埼玉県薬剤師会 幸手薬剤師会の6薬局で実施
- 測定者数 313人
- 実施期間  
平成27年8月26日～平成28年2月29日
- 薬局の条件
  - ・処方せん調剤以外に健康相談を行っていること
  - ・調剤カウンターとは別に検体測定や相談できる場所があること
  - ・感染症防止等衛生管理が徹底されていること

8

## 2 実施方法

### (6) イベント会場での測定

- 幸手市健康福祉まつり  
平成27年11月1日  
測定者数 85人
- 幸手市市民の集い  
平成28年1月31日  
測定者数 35人

9

## 2 実施方法

### (7) 受診勧奨

- 測定の結果、HbA1c 6.0%以上の人に医療機関を受診するよう勧奨
- 事前に連携を図った地域の医療機関を紹介
- 薬局では、その場で電話連絡等により医療機関の受診予約を支援
- 一定期間後受診状況の調査を行い、未受診の場合は再度受診を勧奨
- 必要に応じ、一部の薬局では管理栄養士による栄養相談を実施

10

## 3 結果

### (1) 測定者数及び受診勧奨者数等

- 測定者 433人
- 薬局

|                           |       |      |
|---------------------------|-------|------|
| 測定者                       | ..... | 313人 |
| 受診勧奨者                     | ..... | 67人  |
| (最も測定値の高かった者 HbA1c 10.1%) |       |      |
| うち医療機関受診者                 | ..... | 39人  |
- イベント

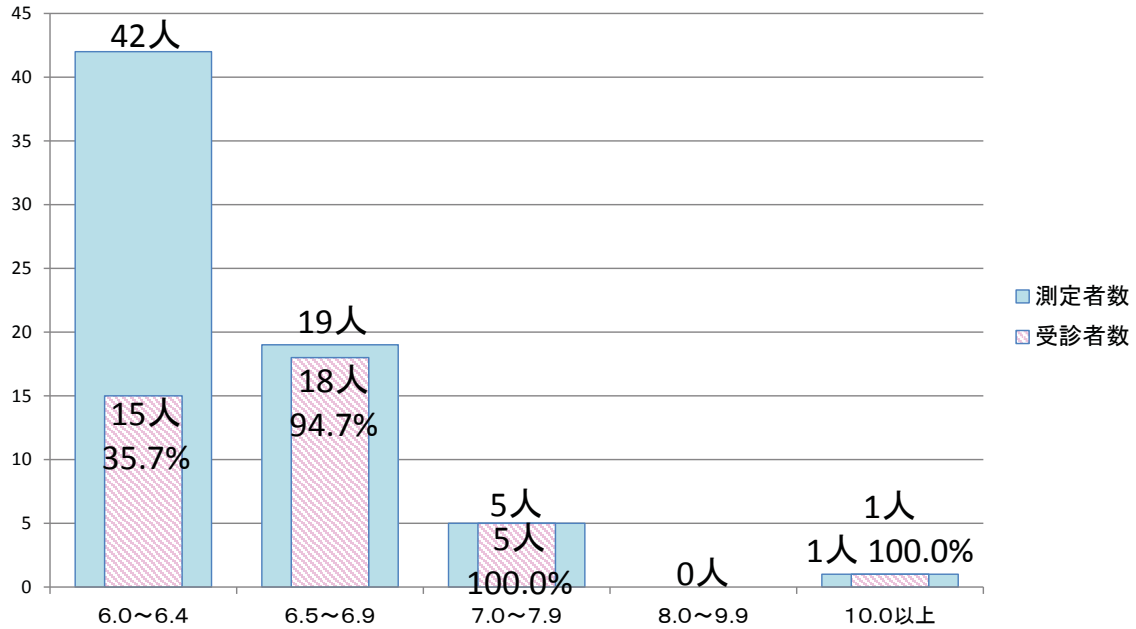
|                          |       |      |
|--------------------------|-------|------|
| 測定者                      | ..... | 120人 |
| 受診勧奨者                    | ..... | 36人  |
| (最も測定値の高かった者 HbA1c 8.7%) |       |      |
| うち医療機関受診者                | ..... | 5人   |

11

# 3 結果

## (2) 薬局での測定結果

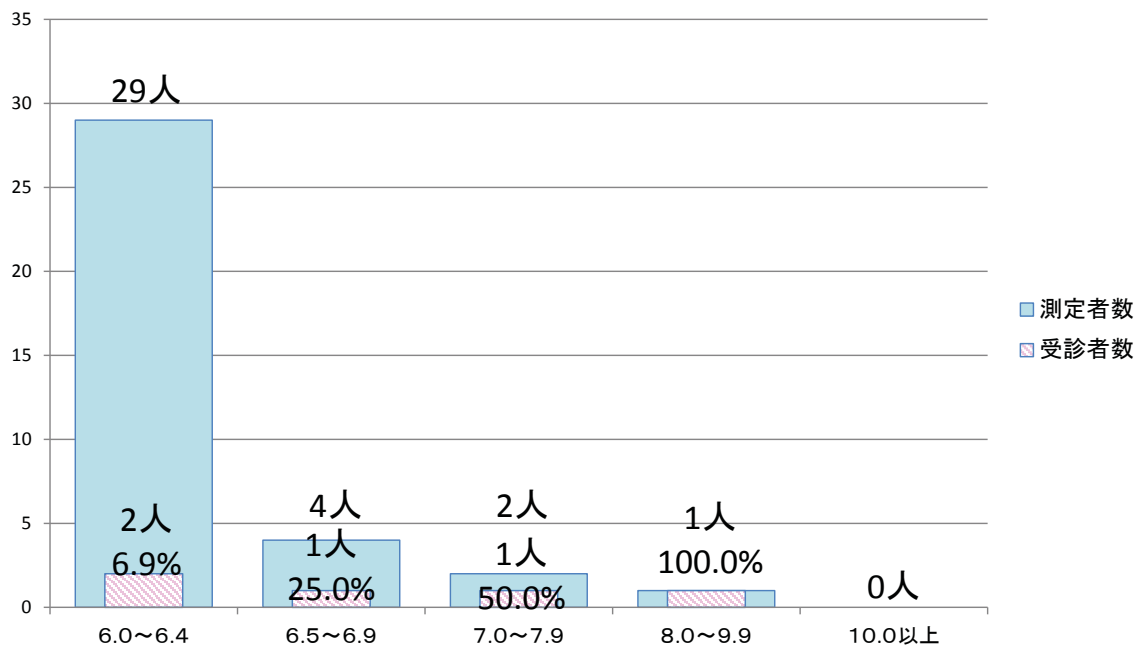
測定者数・受診者数及び受診率



# 3 結果

## (3) イベントでの測定結果

測定者数・受診者数及び受診率



## 4 考察

### (1) 受診勧奨者数と受診者

- 薬局 HbA1c 6.0以上の者の受診率 … 58.2%  
HbA1c 6.5以上の者の受診率 … 96.0%
- イベント HbA1c 6.0以上の者の受診率 … 13.9%  
HbA1c 6.5以上の者の受診率 … 42.9%
- イベントなどの拠点がなく単発の測定よりも、薬局で測定したほうが、明らかに受診率が高い
- 薬局での受検者は、健康についてフォローしていけるが、イベントでの受検者は、その後のフォローが難しいといった課題がある

14

## 4 考察

### (2) 多職種連携・広報活動

- 幸手市の医師会のバックアップもあり、地域包括ケアの一環としても貢献できた
- 幸手市歯科医師会の協力のもと、歯科医院において、治療中の患者で糖尿病が疑われる(主に歯周病患者)者に本事業のチラシを配布
- 広報活動  
医師会・歯科医師会、公共機関、商工会、幸手市健康増進課の協力が大きかった



作成したチラシをもって来局する人がいた

15

## 4 考察

### (3) 受検者の反応・地域医療への貢献

- 受検者からは、大変好評  
薬局が地域の健康増進に寄与できる事業
- 地域医療への貢献  
地域に潜在する糖尿病予備群患者に対し、  
啓発・食生活指導、運動療法を実施
- まとめ  
糖尿病の早期発見に、薬局の役割は今後ますます期待

16

## 4 考察

### (4) 今後の展開

- 平成27年度に実施した郊外地域モデル事業(幸手地区6薬局)に加え、大都市地域においてモデル事業(6薬局)を実施
- 健康まつり等の健康関連イベントにおいても測定・啓発を行う
- モデル事業において得られた成果等を、県内全域に普及

17